

第293回薬事委員会報告

日時 令和4年 8月 3日 (水) 15:00~15:20

場所 病院会議室A

出席者 升谷、高松、平井、衛藤、小松、是永、塩出、神村、兼重

欠席者 川浪、吉兼

議事

I. 医薬品新規採用の適否について

	適否	採用医薬品	削除医薬品
1	適	サムタス点滴静注用8mg	ブリリント錠30mg
2	適	タブネオスカブセル10mg	フォスブロック錠250mg
3	適	オゼンピック皮下注2mg	オゼンピック皮下注0.25mgSD
4	適	ミネプロOD錠1.25mg	ミネプロ錠1.25mg
5	適	ミネプロOD錠2.5mg	ミネプロ錠2.5mg

削除医薬品が先発品の場合は、削除決定後自動的に院外専用医薬品となる。

II. 後発医薬品 (GE) の切替採用申請

	適否	AG/BS	製品名	削除医薬品
1	適	—	レボカルニチンF F錠100mg「トーワ」	エルカルチンFF錠100mg
2	適	—	レボカルニチンF F静注1000mgシリンジ「ニプロ」	エルカルチンF F静注1000mgシリンジ
3	適	—	ボルテゾミブ注射用3mg「DSEP」※①	ベルケイト注射用3mg

*①化学療法小委員会にて承認済み

III. 試薬・製剤原料等購入申請

該当なし

IV. 新規院内特殊製剤

該当なし

V. 臨時購入医薬品 (院内専用 患者限定)

新規購入品目 令和4年5月7日~令和4年7月1日

	製品名	申請科	申請理由
1	オンデキサ静注用200mg/瓶	救命救急センター	直接作用型第Xa因子阻害剤投与中の患者における、生命を脅かす出血
2	ピヴラツ点滴静注液150mg	救命救急センター	脳腫瘍によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮、及びこれに伴う脳梗塞及び脳虚血症状の発症抑制
3	硫酸ストレプトマイシン注射用1g「明治」	呼吸器内科	非結核性抗酸菌症
4	塩酸プロカルバジンカプセル50mg「TYP」	腫瘍・血液・感染症内科	悪性リンパ腫
5	ベレキシブル錠80mg	腫瘍・血液・感染症内科	再発又は難治性の中脳神経系原発リンパ腫
6	レミトロ点滴静注用300μg	腫瘍・血液・感染症内科	再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫
7	サムタス点滴静注用8mg	循環器内科	心不全
8	プログラフ注射液2mg	消化器外科	腎移植における拒絶反応の抑制
9	エプクルーサ配合錠	消化器内科	C型肝硬変(非代償期)
10	ゾルゲンスマ点滴静注	小児科	脊椎性筋萎縮症
11	エクストラニール腹腔透析液2.0L	腎臓・膠原病内科	慢性腎臓病ステージG5D
12	サーティカン錠0.25mg	腎臓・膠原病内科	腎移植後拒絶反応
13	サフネロー点滴静注300mg	腎臓・膠原病内科	全身性エリテマトーデス
14	セルセプト懸濁用散31.8%	腎泌尿器外科	血液型不適合生体腎移植後
15	ツムラ酸棗仁湯エキス顆粒(医療用)	精神神経科	統合失調症、睡眠時無呼吸
16	ヒューマログ注カート300単位	内分泌・糖尿病内科	1型糖尿病

VI. 院外専用医薬品の追加承認 (令和4年3月4日時点)

エムガルティ皮下注120mg オートインジェクター	ジスバルカプセル40mg	ゼシユーラ錠100mg
ソグルーヤ皮下注5mg	ソグルーヤ皮下注10mg	バクタミニ配合錠
ビレーズトリエアロスフィア120吸入	ボチシート20%	モイゼルト軟膏0.3%
モイゼルト軟膏1%	ラピフォートワイプ2.5%	ルセフィODフィルム2.5mg
ロゼックスゲル0.75%(15g チューブ)	レイボー錠100mg	

VII. 販売名変更のご案内

		旧販売名	一般名	メーカー	新販売名	販売名 変更時期	経過措置期間
1	常備	タンニン酸アルブミン原末	タンニン酸アルブミン	ファイザー	タンニン酸アルブミン「VTRS」原末	—	2023年3月31日
2	常備	イトラコナゾール内用液1%「ファイザー」	イトラコナゾール	ファイザー	イトラコナゾール内用液1%「VTRS」	—	2023年3月31日
3	常備	ファムシクロビル錠250mg「ファイザー」	ファムシクロビル	ファイザー	ファムシクロビル錠250mg「VTRS」	—	2023年3月31日
4	常備	ポビドンヨードゲル10%「マイラン」	ポビドンヨード	マイラン	ポビドンヨードゲル10%90g「VTRS」	—	2023年3月31日
5	常備	酸化亜鉛「ファイザー」原末	酸化亜鉛	ファイザー	酸化亜鉛「VTRS」原末	—	2023年3月31日
6	常備	クエン酸第一鉄Na錠50mg「武田テバ」	クエン酸第一鉄Na	武田テバ	クエン酸第一鉄Na錠50mg「NIG」	—	2023年3月31日
7	常備	シタラビン点滴静注液400mg「テバ」	シタラビン	テバ	シタラビン点滴静注400mg「NIG」	—	2023年3月31日
8	常備	シタラビン点滴静注液1g「テバ」	シタラビン	テバ	シタラビン点滴静注1g「NIG」	—	2023年3月31日
9	常備	ミルリノン静注液10mg「タイヨー」	ミルリノン	タイヨー	ミルリノン静注液10mg「NIG」	—	2023年3月31日
10	常備	ラクツロースシロップ65%「武田テバ」	ラクツロース	武田テバ	ラクツロースシロップ5%「NIG」	—	2023年3月31日
11	常備	スルピリド錠50mg「TYK」	スルピリド	日医工	スルピリド錠50mg「NIG」	—	2023年3月31日
12	常備	センノサイド錠12mg「武田テバ」	センノサイド	武田テバ	センノサイド錠12mg「NIG」	—	2023年3月31日
13	常備	ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%「タイヨー」	ゲンタマイシン	タイヨー	ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%「NIG」	—	2023年3月31日
14	常備	HCGモチダ筋注用5千単位	ヒト絨毛性ゴナドトロピン	持田製薬	HCGモチダ注射用5千単位	—	2023年3月31日
15	常備	ガンシクロビル点滴静注500mg「ファイザー」	ガンシクロビル	ファイザー	ガンシクロビル点滴静注500mg「VTRS」	—	2023年3月31日
16	常備	セフトリアキソン点滴静注1gバッグ「ファイザー」	セフトリアキソン	ファイザー	セフトリアキソン点滴静注1gバッグ「VTRS」	—	2023年3月31日

VIII. 販売中止に伴う切替採用申請および販売中止

(販売中止に伴う切替採用申請)

	適否	採用医薬品	削除候補採用薬	販売中止時期	経過措置期間
1	適	チエナム点滴静注0.5mg	チエペナム点滴静注用0.5mg	不明	2023年3月31日
2	適	ツロブテロール塩酸塩DS小児用0.1%「タカタ」	ツロブテロール塩酸塩DS0.1%「オーハラ」	不明	2023年3月31日
3	適	サラゾスルファピリジン錠500mg「日医工」	サラゾスルファピリジン錠500mg「タイヨー」	不明	2023年3月31日

(販売中止)

	区分	製品名	販売中止時期 (経過措置期間)	同効採用薬
1	常備	オンダンセトロン注射液2mg「F」	2024年3月31日予定	オンダンセトロン注4mgシリンジ「マルイシ」
2	常備	フェロン注射用300万単位	2024年3月31日予定	同効薬なし
3	臨時	トランコロン錠	2024年3月31日予定	チアトシカプセル

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ（資料1）

（供給遅延・供給停止等に伴う切替採用申請）

ポリコナゾール錠 200 mg 「日医工」→ブイフェンド錠 200 mg

（供給遅延・供給停止）

ブシラミン錠 50 mg 「日医工」

なお、新型コロナ患者の増加でコロナールの供給遅延が言われており、当院においても長期処方が多くなれば影響がでることが考えられる。また院外処方においても、在庫の件で調剤薬局から問い合わせが増加することも予想される。代替薬としてでロキソプロフェン、イブプロフェンも使用可能なので処方時に考慮してもらいたい。

X. 副作用報告

2022年5月～6月の副作用報告件数は6件であり、そのうち非重篤なものは5件、重篤なものは1件（下記記載）であった。

医薬品副作用被害救済制度の承認件数は0件であった。

情報収集日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
2022/5/16	75	男性	オブジーボ点滴静注 240 mg	内分泌障害	軽快	薬剤師	未

XI. その他

1. 使用量低頻度医薬品の院内削除について

（削除医薬品）

ラコールNF 配合経腸用液（抹茶）：院内削除後は自動的に院外専用医薬品となる

2. 院外専用医薬品の削除（過去5年間処方歴なし）

院外専用医薬品採用基準に従い、過去5年間使用歴のない下記医薬品の院外専用オーダを削除とする。

スタラシドカプセル 50 mg、アンベック坐剤 20 mg、ソフラチュール貼付剤 30cm、テオロン錠 50 mg、小児用バクシダール錠 50 mg、バルネチール錠 200 mg、フェノバルエリキシル 4 mg/mL、ボンアルファローション 2 μg/g、レナジェル錠 250 mg、三和 桂芍知母湯エキス細粒 3.0 g/包、デュロテップMT パッチ 8.4 mg、82 ヴィチ枝人參湯エキス顆粒 2.5g/包、正官症コウジン末、ピートルチュアブル錠 250mg、レミニール内用液 4 mg/mL、プロプラノロール塩酸塩徐放カプセル 60mg 「サワイ」

3. 薬事ニュースNo. 95 （資料2）

4. 2021年度院内製剤調製実績 （資料3）

5. 後発医薬品使用体制加算について

2022年4月以降の後発医薬品の割合は90%以上、カットオフ値50%以上である。

後発医薬品使用体制加算1（47点：入院期間中1回に限り、入院初日に算定）の取得継続が可能となった。今後も、現状を維持すべく後発医薬品の使用を推進していく。

	4月	5月	6月
全医薬品の規格単位数量 (①)	559,006	551,649	539,752
後発医薬品あり先発医薬品及び 後発医薬品の規格単位数量 (②)	303,756	296,591	289,276
後発医薬品の規格単位数量 (③)	278,833	272,223	260,520
カットオフ値の割合 (②/①)	54.34%	53.76%	53.59%
後発医薬品の割合 (③/②)	91.79%	91.78%	90.06%

6. 新型コロナウイルス感染症治療薬の使用状況（2022年7月20日時点）

【適応外使用】（倫理委員会承認済み）

医薬品名	症例数
オルベスコ吸入 200 μg	2
プラケニル錠 200mg	3

【特例承認】

医薬品名	症例数
ゼビュディ点滴静注液 500mg	21
バクルリー点滴静注用 100mg	196
ロナプリーブ点滴静注セット	5
ラゲブリオカプセル 200mg	32
パキロビットパック	7

【正式承認】

医薬品名	症例数
オルミエント錠 2mg・4mg	76

7. その他

※2022年7月22日現在の総採用品目数は2485品目であり、うち後発医薬品は608品目（24.5%）である。

次回薬事委員会は、令和4年 10月 5日（水）15時より病院会議室Aで行う。